

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(避難訓練)

学校名	明新小学校
報告者	由比 万結

### I 避難訓練の実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

実施期日:7月23日

参加者:福井・吉田ブロック小中学校安全担当者  
防災アドバイザー 岡本 拓夫氏

#### 2. 実施の目的、内容

目的 令和7年度県小及び中教研福井・吉田ブロック安全研究部会を兼ね、各校の避難訓練について情報交換を行う。

内容 5校が避難訓練実施状況を報告し、その後グループ別で意見交換を行った。意見交換会で出た質問などを、防災アドバイザーが答えるという内容であった。

### II 成果と課題

#### 1. 成果

各校の避難訓練の状況を共有することで、自校の実情にあった訓練に加え、より実践的な訓練となる手立てをみつけることができた。

#### 2. 課題

防災アドバイザーから、自分の学校の立地条件を把握し、起こりえる災害を想定することの大切さについて教わった。関係職員と共有し、起こりえる災害を想定して、児童の安全な避難訓練及び計画を立てていきたい。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(講義形式)

学校名	明新小学校
報告者	由比 万結

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者(学年・人数)等

実施期日:10月15日

参加者:校長・安全担当1名

防災アドバイザー 下畑 健二氏

津田 かおり氏

#### 2. 実施の目的、内容

目的 11月の避難訓練に向けて計画の見直しを行う。

内容 危機管理マニュアルを基に立てた避難訓練の計画を見直し、よいところや直すべきところを指導していただき、避難訓練の内容について検討する。

### II 成果と課題

#### 1. 成果

避難訓練の計画を事前に見直すことによって、改善した避難訓練の案を実施することができた。計画には、避難方法について細かく書かれているが、教員の対応や動きの共通認識をもつことができてよいとお褒めの言葉をいただいた。地震が起こった際、一番多い怪我は、机の下に潜ろうとして頭をぶつけた怪我だったため、体操帽子をかぶって身を守る行動をとることが望ましいと教えていただいた。教えていただいたことは、危機管理マニュアルに反映した。

#### 2. 課題

廊下にいる時に地震が起こると、その場で身を守らず、教室の机の下にわざわざ潜ろうとすることが多い。どこで地震が起きても児童が身を守ることができるようになることが望ましい。訓練は、時間・場所・状況の設定によって、子どもにも考えて行動することを練習させる場になるとよい。(休み時間に行う、自教室以外の場所で避難する、障害物が避難経路にある等)

避難するときに臨機応変に対応することが必要であるが、急ぐあまり走ることも考えられる。落下物がないか確認しながら避難するとよい。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(避難訓練)

学校名	明新小学校
報告者	由比 万結

### I 避難訓練の実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

実施期日:11月5日(水)

想定時間:9:40~10:40

参加者:児童760名、教職員46名

防災アドバイザー 岡本 拓夫氏  
菅生 敬一氏  
津田 かおり氏



#### 2. 訓練の目的、内容(※訓練実施計画の添付でも結構です)

添付資料参照

### II 訓練の成果と課題

#### 1. 成果

火災発生元を教員に知らせず、出入りもする状況設定のもと行った。近くで火災が発生した場合、初期消火に誰が行くか、避難経路はどうするかなど様々な想定をしておくことができた。緊急地震速報を聞いて、児童も教員も机の下に入るなどの身を守る行動をとることができた。地震の際には学校の放送設備等は使えないと想定し、トランシーバーやスピーカーを使用することを試みた。

避難後、防災アドバイザー岡本先生から「おかしもった」や火災の時は目も守る必要があることを教えていただき、自分の避難の仕方について考えるきっかけとなった。

#### 2. 課題

避難の際に、姿勢を低くしてハンカチで口と鼻を覆うとマニュアルに決められていたが、非常時には階段を急いで降りることが想定され、一人が転倒すると将棋倒しになる恐れがある。指摘を受けた。周囲を確認し、煙が充満していない場合は通常の姿勢で避難を行うなど臨機応変に対応していかなければならない。外に避難する時に国旗掲揚塔から離れて整列した。グラウンドには、国旗掲揚塔だけでなく、防災無線も倒れてくる可能性があることを教えていただいた。周囲に危険なものはないか、安全かどうか考えて行動していくとともに、避難する場所についても検討していく。

実際に地震や火災が起こった場合、児童がパニックを起こしてしまう「凍りつき症候群」が起こる可能性がある。教職員は児童の命を守るための行動を起こしていく必要がある。

## 令和7年度 第1回 避難訓練実施計画 (案)

- 1 日 時 令和7年11月5日 (水) B週 9:15~10:40  
(雨天延期; 11/13 (木) 延期した場合も消防署職員の来校あり)
- 2 ねらい  
○地震や火災が発生した際に、児童の生命・身体の危険防止、安全維持のため、放送や教師の指示に従って行動し、決められた避難場所へ安全迅速に避難ができるようにする。  
○職員が、各任務を確実に遂行できる体制を整える。
- 3 想 定  
・第一次 地震発生(机の下など安全な場所に避難する。)  
・第二次 出火場所不明、校舎に延焼の恐れ有り。(非常口から校庭に避難、雨天時は延期)
- 4 日 程  
9:15 消防職員来校  
9:25 地震発生放送  
火災発生非常ベル 校内放送 (避難開始)  
9:43 避難完了  
9:45 校長先生のお話  
9:50 消防職員講評  
9:55 教室へ移動 その日のうちに振り返りと事後指導をお願いします  
10:05 煙体験 (5年)

### 6 実施内容

時刻	順序	児童の行動	指導者の対応
9:25	① 緊急地震速報 ② 一次避難(30秒)	・揺れを感じたり、緊急地震速報が聞こえたりしたら、体操帽子をかぶり、机の下に入る。机の脚を両手でしっかり持つ。	・教室等にいる場合は、ドアを開けて、出口の確保をする。 ・その場近辺で安全な場所にしゃがんで待つように指示
9:26	「訓練、訓練。ただ今、大きな地震が発生しました。児童の皆さんは、机の下や安全な場所で頭を守れていますね。次の放送があるまで、そのまま待ちましょう。(繰り返す)」		
	③火災発生 ★防火扉を閉める (職員室にいる先生) ④ 二次避難の指示放送 (教頭)	・静かに放送を聞く。	・児童が安全か確認する。 ・児童が大けが、ショック状態にある場合、速やかに職員室に連絡する。 ・火元確認を指示 (校長) ・火災受信盤を確認 (教頭) ・119番通報を指示 (校長) ・119番通報 ・児童の避難を指示 (校長)
9:37	「ただ今、緊急ベルが鳴りました。○○付近で火災が発生しているおそれがあるので、先生は速やかに現状を確認してください。児童の皆さんは先生の指示に従って校庭に避難しなさい。」(繰り返す)		
		・教員の指示に従い、火元から離れるようにして、近くの非常口から避難する。 ・左手でハンカチを口と鼻に	・携帯電話、消火器を持って現場確認、初期消火に向かう。 (付近の先生、職員室にいる先生) ・消火班のうち一人はトランシー

	<p>⑥初期消火に失敗</p>	<p>当て、右手で左手の肘をもち、歩く。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「おかしもった」の約束を守る。</li> <li>●下の学年を優先することを基本とする。</li> </ul>	<p>バーを持って行き、出火場所や初期消火の状況、誰が対応しているかを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通報者は消火班に同行し、消防に状況を伝える。</li> <li>・消火器で消火できない場合、屋内消火栓を使用する。</li> <li>・トランシーバーで「延焼拡大中」、避難することを伝え、避難する。</li> <li>・教頭はトランシーバーで消火班と連絡を取り、状況を確認する。</li> <li>・在籍名簿、全校出欠表、児童引き渡しカード、出席簿を持って避難</li> <li>・火災発生付近の教室の授業担当者は、手分けして、児童を火元付近から避難させる。</li> <li>・地震の二次被害を考えて、避難を誘導する。</li> <li>・通級やふれあい、保健室に児童がいる場合、その場にいる先生が児童を避難させる。</li> <li>・南渡り廊下や一年生教室等、近くの出ることが可能なところから臨機応変に避難する。</li> </ul>
	<p>⑦校庭に避難集合</p> <p>⑧余震 緊急地震速報</p>	<p>・緊急地震速報が流れたら、頭を守る行動をとる。</p>	<p>・頭を守る行動をとりながら、児童の安全を確保する。</p>
		<p>「訓練、訓練。揺れが治まりました。児童の皆さんは、その場に座りましょう。」</p>	
<p>9:43</p>	<p>⑨人員確認 避難完了</p>	<p>・背の順で整列する。 *授業担当者が、学年主任に人員確認報告を行う。 授業担当者は人員報告後に担任のクラスに戻る。</p>	<p>・授業担当者が人数を確認する。場合によって、複数のクラスの人員確認を行う。</p> <p>・欠席などは、全校出欠表で確認をする。</p> <p>児童：授業担当者→学年主任→校長 教職員：無担任→教務→教頭→校長 学級担任→主任→教頭→校長</p> <p>(低学年支援員は学年主任に伝える) (支援員なども教務に伝える)</p> <p>報告の際、学年主任がいない場合もあるため、臨機応変に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会通報（教頭）</li> <li>・校舎内へ入る際のぞうきんの準備をする。全員入り次第、片付</li> </ul>

9:45	⑩防災士さんのお話 福井工業高等専門学校教授 岡本先生		けをする。(支援員)
9:50	⑪消防署職員講評		
9:55	⑫教室へ移動	・1・2・3・4・6年は移動を開始する。 ・5年は煙体験へ向かう。	
10:05	⑬煙体験(5年) (会議室)	・5年は煙体験を行う。 (5~6人グループで)	・各グループに一人ずつ教員が付くようにする。
10:40	⑭訓練終了		・3時間目以降に事後指導をし、振り返りをさせる。

\* 出口

- ・東側出口
- ・西側出口
- ・1年生教室
- ・南渡り廊下や体育館
- ・職員玄関
- ・児童玄関

7 対外機関への通報例

(1) 119番

「訓練、訓練、こちらは福井市●●●●丁目●●●● 明新小学校です。○階の○○より出火しました。消防車の出動をお願いします。児童、職員は避難中です。私は○○と申します。明新小学校の電話番号は ●●-●●●●です。」

(2) 教育委員会

「訓練、訓練、こちらは明新小学校の○○です。・・・(状況を話す)・・・以上です。よろしくをお願いします。」

8 避難方法(児童への事前指導)

- (1) 放送及び先生の指示をよく聞く。
  - ・普段から、放送が入ったら立ち止まって、口を閉じる。
- (2) 地震発生時には、まず頭を守る。
  - ・体操帽子をかぶり、机の下に入る。その際、机の脚(対角線)の上の方を両手でしっかり持つ。
  - ・机がない場所では、椅子などの落下物を防げるものの下に隠れる。
  - ・隠れるものが何もない場所では、上からものが落ちてこない、横からものが倒れてこない場所に移動し、低い姿勢で体操服袋や両腕などで頭と首を覆う。
- (3) 放送及び先生の指示に従い、非常口より静かに避難する。
  - ・「**お**さない」「**か**けない」「**し**ゃべらない」「**も**どらない」「**た**すけ合う」を守る。**おかしもった**
  - ・火災発生時には、左手でハンカチを口と鼻に当て、右手で左手の肘を持ち、歩く。(普段からハンカチを身に付けておく)
  - ・火災発生時には、火元から離れるようにして、近くの非常口から避難する。
  - ・校舎内は、下級生を優先することを基本とする。
- (4) 避難場所では、すばやく背の順で整列し、静かに待つ。
  - ・自分の学年、クラスの場所を大体把握しておき、避難後に整列できるようにする。
  - ・人員確認をしやすいように列を整える。

(5) 避難の仕方は、各学級ごとに、学級活動や体育の際などに実際に行う。給食室を通らない経路や理科室を通らない経路など、あらゆる場合に備えて、速やかに行動できるように、校庭まで出て、避難場所まで行っておく。いろいろな想定で、避難出口を知らせておく。

9 避難場所（国旗掲揚塔に向かって各クラス2列に並ぶ。）（避難の体制は朝礼と同様にする）



\*校舎内では、避難する際に、交差することが考えられるため、上の学年は下の学年を優先させる。

\*校庭に出た際には、出口をでたらそのまま南に直進し、それから自分の学年の場所に安全に避難できるようにする。出口が混雑している場合は、1年教室や家庭科室からも出る。

10 避難後の処置

- (1) 避難完了後、担任教員は直ちに人員を点呼・確認し、異常の有無を学年主任に報告する。  
「〇年〇組、出席〇名、全員避難しました。」
- (2) 学年主任は、校長に状況を報告する。

11 訓練終了後について

- ① 校舎に入る際には、上履きの底をよく拭く。
- ② 南校舎1階の教室は、各担任が雑巾を準備する。
- ③ 児童玄関・西側出口・東側出口で使用する雑巾とバケツは、支援員が準備しておく。また、無担任は、各出入り口での指導や片付けに当たる。
- ④ 1～6年の校舎への入り方
  - ☆3年、5年は児童玄関から入る。（3年は校舎を東周り、5年は西周り）
  - ☆4年、6の1・6の2は東側出口から入る。
  - ☆2年、6の3・6の4は西側出口から入る。
  - ☆1年はベランダから自教室に入る。

12 その他

- ① 当日朝、訓練を実施することを警備会社（ ）に連絡する。（担当：教頭）
- ② 授業担当者は避難経路を把握しておく。
- ② 雨天時は、避難訓練を行わない。別日に延期する。
- ④ 前日までに、非常口と国旗掲揚塔までの道筋を児童と確認しておく。
  - \*臨機応変に動いて判断できるように教員はいろいろな経路を確認・想定しておく。
  - ★訓練日までに、事前指導を行う。
- ⑤ 5年生は事前に煙体験のグループ分けをしておく（5～6人のグループ）
- ⑥ 窓の開閉は、火災では現場や現場付近以外は窓を閉めない。（煙が校舎内に充満するため。）大地震では窓ガラスが割れるので、廊下等は中央を歩く。
- ⑦ 指導後について
 

児童の振り返りの用紙については、各クラス1部ずつコピーを担当者まで提出してください。今回の避難訓練についての振り返りもシートを用意しますので、今回の避難訓練についての反省や感想、事前指導についての感想などもお願いします。（担当：由比）
- ⑧ 防火扉の前に乾燥棚などが置いていないかを確認しておいてください。今後も防火扉の前には、万一に備えて、置かないようにしてください。

避難訓練の事前指導について

(1) 活用する教材について

『キキとカンリ 地震の時の行動』

NHK for School の番組。地震が起きたときに命を守るためには、「身の回りにどんな危険があるのか」、「揺れ始めたときにどんな行動をとればよいか」を知る。一人でも安全に避難できる、身を守るポーズができることをねらう。

事前指導の際に、どこでも身を守ることができるようにパワーポイントを使って指導をお願いします。

(2) 指導について

実施計画に沿って事前指導を行い、避難訓練当日に活かしてください。  
各学級、学級活動の時間等を使って指導をお願いします。実際の避難経路の確認もお願いします。

避難の仕方は、各学級ごとに、必ず実際に行ってください。避難誘導計画以外に、給食室を通らない経路や理科室を通らない経路など、あらゆる場合に備えて、速やかに行動できるように、校庭まで出て、避難場所まで行っておいてください。また、校舎を出たら、のんびり歩くのではなく、少し早歩きで避難させてください。  
校舎から外に出る時、落下物がないかを確認してから出るようにしてください。

背の順で整列する際には、休みの子のスペースは空けて座るようにし、欠席者が分かるようにしてください。（普段の朝礼の時も同様をお願いします。）

児童が勝手に教室から出でいかないように指導をしてください。（保健室や職員室へ児童だけでいく場合は、担任から連絡を入れる。）

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(講義形式)

学校名	社西小学校
報告者	佐々木玲佳

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者(学年・人数)等

8月19日(火)に防災アドバイザーの飛田幸平様が来校された。参加者は、教頭、安全担当である。

#### 2. 実施の目的、内容

主に、以下の2点について話し合いを行った。

- ①危機管理マニュアルの見直し
- ②11月避難訓練計画について

### II 成果と課題

#### 1. 成果

##### ①危機管理マニュアルの見直しについて

- ・ 火災、地震などいろいろな場合での体制が詳しく書かれているため、今の危機管理マニュアルでよいと教えていただけた。だが、場合によって見直していく必要があるとのことだった。

##### ②11月避難訓練計画について

- ・ 4月、6月の児童に避難の基本を教える避難訓練を行った。放送機器が使えない場合での避難訓練を計画することで、11月の訓練では、教員の動き方が大切になってくることが分かった。

#### 2. 課題

##### ①危機管理マニュアルの見直しについて

- ・ 消防計画の自衛消防隊編成表について、消火班にあたっている教員が各階1名ずつ配置していた。消火班が災害時に見回る際には、基本各階2名1組の方がよいとアドバイスいただいた。ただ、教員の人数配置にも限界があるため、今後検討していく必要がある。

##### ②11月避難訓練計画について

- ・ 社西小学校地区は、日野川の氾濫・洪水があった場合、基本想定では、建物1階が浸水、最大想定では、建物2階が浸水となる。そのため、今後の訓練では、大雨で川の氾濫・洪水があった場合の避難訓練(垂直避難)を行っていく必要があると分かった。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(講義形式)

学校名	社西小学校
報告者	佐々木玲佳

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者(学年・人数)等

10月1日に防災アドバイザー 飛田幸平様に来校いただいた。10月6日の防災授業の打ち合わせを4年担任と行った。

10月6日には、防災授業を行った。参加者は、4年生児童39名と4年担任2名である。

#### 2. 実施の目的、内容

防災授業では、4年生が作成した「学校防災プラン」(写真1)を防災アドバイザーに見てもらった。学校防災プランを10班分見てもらい、1班ずつアドバイスをもらった。防災の専門家である防災アドバイザーに学校防災プランを見もらうことで、児童が新たな視点に気づき、さらにより学校防災プランにしようと思直していくことがねらいである。



写真1 学校防災プラン

### II 成果と課題

#### 1. 成果

- ・ 防災の基本観点を教えてもらい、児童は、そのポイントが入っているか考えながら、学習することができた。
- ・ 1班ずつ、学校防災プランのよいところ、追加するとよいところ、修正するとよいところを丁寧に教えてもらい、その後の学習で見直すことができた。

(写真2)



写真2 学校防災プラン

#### 2. 課題

- ・ 学校防災プランを見直して学習を終わるのではなく、全校に周知する必要があると分かった。見直した学校防災プランは、青空防災集会で全校の前で周知し、学校全体の防災意識を高めることができた。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(避難訓練)

学校名	社西小学校
報告者	佐々木玲佳

### I 避難訓練の実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

10月30日に防災アドバイザーの飛田幸平様が来校され、避難訓練の打ち合わせを行った。  
11月7日に避難訓練(放送機器が使えない場合)を行った。防災アドバイザーの飛田幸平様と防災会の2名が来校された。参加者は、全校児童288名、教職員30名である。

#### 2. 訓練の目的、内容(※訓練実施計画の添付でも結構です)

避難訓練実施計画を別に添付。

### II 訓練の成果と課題

#### 1. 成果

- ・児童は、放送機器が使えない場合でも、先生の指示に従い、安全に避難することができた。
- ・放送機器が使えない中でも、教員が大きな声を出したり、指示を見童や他のクラスの教員に伝えたり、安全にすばやく避難する行動がとれていた。

#### 2. 課題

- ・走っている児童や転んでしまう児童がいた。階段は教員がスピードダウンすることが大切であると教えていただいた。また、大人が速く動くと、子どもは急がないといけないと思い、階段でのなだれ事故が起きやすくなるため気をつけることを指導していただいた。
- ・トランシーバーの使い方を全教員に周知する必要があると分かった。
- ・今回は、教員が出入りする授業は無して訓練を行った。次回は、教員がそれぞれちがう場所にいる場合の訓練を行う。

### 【避難訓練の様子】



画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

# 令和7年度 第3回避難訓練実施計画

令和7年11月

1. 日 時 令和7年11月7日(金) 2時間目 (出入り無し・防災アドバイザー)

2. 目的
- ・地震の危険について知る。
  - ・非常災害に際し、児童の生命・身体の安全保持のため、統制ある行動で児童と職員共に避難できるようにする。
  - ・自己と他者を災害から守ると同時に、防災への意識を高める。

3. 内容
- ・避難経路・避難口・避難場所の確認をする。
  - ・児童・職員に対する指示通達の訓練をする。
  - ・児童の避難及び職員の引率誘導の訓練をする。

4. 避難本部 体育館 隊長一校長、副隊長一教頭

5. 想定 2校時の学習中、地震が発生し、放送設備が使えない中、体育館へ避難する。

6. 事前指導 ○学級指導
- ・実施日までに、各学級でスライドを使って指導する。  
(スライドは用意します。11月4日から、チームズ社西小教職員にあげておきます。)
  - ・訓練までに、非常用放送設備のサイレンの音を児童に教えておく。このサイレンがなったら緊急事態発生・放送設備が使えない状態であることを伝えておく。
  - ・配慮が必要な児童については、担任から事前に訓練について話しておく。  
→配慮が必要な児童…緊急時にパニックになり、いなくなったり、動けなくなったり、安全な避難行動がとれないと想定される児童。避難訓練に参加することが難しい児童
  - ・配慮が必要な児童は、訓練までにエクセル入力をお願いします。
  - ・連絡シートに入力ファイルをあげます。その後、チームズ教職員一般で共有します。

**各学年への意識付け** 訓練に向けてめあてをもたせる。

高学年…自分の安全な避難及び、下級生の安全な避難を手助けするよう心がける。

中学年…教員の細かな指示がなくとも、安全に避難をする

低学年…教員の指示を聞き、安全に避難をする。

- ・避難経路(避難口)と避難場所を確認しておく。

「おさない」「かけない(走らない)」「しゃべらない」「もどらない」「ちがづかない」で行動し、階段や非常口に注意する。

- ・休み時間や特別教室での行動について知る。

## 7. 行動計画

時間	行動内容			
	訓練の流れ	教職員(本部)	学級担任	児童
9:20			・1校時までに出席簿確認	
9:24	(一斉放送後) <b>放送(緊急地震速報音の後、地震の効果音)</b> ★地震により停電。 放送機器が使えない。 内線も使えない。	・消火班は各階の危険箇所がないか確認する。  <消火班> 1階: ●● 2階: ●●●● 3階: ●●	・授業中断 ・安全確保の指導 ・机の脚は斜めに持たせる ・避難口確保(前方) ・児童の様子を見守りながら指示を出す	・教師の指示に従い、机の下へ ・机の脚を持つ。 ・静かに放送を聞く。 ・避難口確保(後方) (できればよい)
9:26	非常用放送設備のサイレンが鳴る。 職員室にいる教員1名がトランシーバーを4台を持ち、各階にいる教員に渡す。1台は職員室。 ※トランシーバーの場所			

	<p>各階で手分けして情報を伝える。</p> <p>(例) 1階教頭 (1-1 横西廊下から連絡)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>1-1 → 2-1 → 2-2 →す 5</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>5-1 → 5-2 → 4-1 → 4-2 →す 3 4</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>6-1 → 6-2</p> <p>囲っているクラスの教員がトランシーバーを取ったとしての例です。</p> <p>(各階連絡を受けた人が近くのクラスに伝え、もれのないように近くのクラスに伝える)</p> <p>※近くに拡声器があれば使ってもよい。</p> <p>(拡声器がある場所) ※ p 4 参照</p>	<p>〈通報連絡班〉</p> <p>1階: ●●</p> <p>2階: ●●●●</p> <p>3階: ●●</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一連絡者(教頭)から伝えられた内容をかえずに、そのまま伝えること。</li> </ul> <p>(伝えられた内容が伝えている途中で変わっていかないようにするため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トランシーバーを持っている教員は、各階の真ん中に位置するなど、すばやく全体に指示が出せる場所にいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色帽子や頭部を守るものをかぶり、本部からの指示を待つ。(絶対ではなく、命を守る行動が第1優先)</li> </ul>
<p>9:30</p>	<p>教頭からの指示が出たら「地震が収まりました。体育館に避難しましょう。」</p> <p>(例) 1階教頭 (1-1 横西廊下から連絡)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>1-1 → 2-1 → 2-2 →す 5</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>5-1 → 5-2 → 4-1 → 4-2 →す 3 4</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>6-1 → 6-2</p> <p>(各階連絡を受けた人が近くのクラスに伝え、もれのないように近くのクラスに伝える)</p> <p>階段をのぼり、各クラスが見えるところで、大きな声で状況を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要書類の搬出 (●●) 出席簿、教員用出勤表</li> <li>本部指示(赤い旗) 出席簿、教員用出退表 児童引き渡しカード、簡易スピーカーのセットを搬出(教頭)</li> <li>相談室や保健室にいる児童は養護教諭が避難させる。(●●)</li> </ul>	<p>避難誘導 (雨)</p> <p>※避難経路は p 6 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一連絡者(教頭)から伝えられた内容をかえずに、そのまま伝えること。</li> </ul> <p>(伝えられた内容が伝えている途中で変わっていかないようにするため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難に移るよう指示する。</li> <li>児童を廊下に整列させた後、内ズックのままグラウンドまたは体育館に避難</li> <li>窓を閉める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生の指示に従い、安全な避難行動をする。</li> </ul> <p><b>避難開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>窓を閉める</li> <li>電気を消す</li> <li>廊下に並ぶ</li> <li>避難口から出る</li> </ul> <p>「お・か・し・も・ち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>階段の降り方</li> <li>曲がり角での転倒防止</li> <li>非常口での混雑などに留意</li> </ul>

9:38	避難完了 人員確認 (担任→教頭→校長) ○年○組 欠席○名 (児童の名前○○、□□) 出席○名中○名確認	・児童の人員確認 (担任→教頭→校長) ・教員の人員確認 (●●)	・避難後、児童をその場に座らせ、人員を点検し異常の有無を報告する。 ・特別支援学級の児童がいる学級は、2回教頭に人数報告をする。 1回目は、通常学級だけの人数。2回目は、交流学級こみの人数。	
9:45 9:55	・校長先生のお話 ・防災アドバイザーの話 ・各クラスに戻る	・進行 (佐々木玲)		・話を聞く。

【すまいる●組 ●●●さんの避難について】

本当の火災については、●●●さんを抱っこまたは、布を使って外に避難する。車椅子は降ろさない。

下記は避難訓練の場合

ケース1 介助員がいる場合 →すまいる●組横の東階段を降りる。

(児童も教員も同じ動き)

階段については、介助員と●●●先生とで抱えて降りる。

ケース2 介助員が不在の場合 →すまいる●組横の東階段を降りる。

(児童も教員も同じ動き)

階段については、●●●先生と教員もう一名で抱えて降りる。

※訓練の場合、車椅子は予備のものを準備しておく。

【拡声器の場所】

1階 2年1組前



2階 すまいる3組近く



3階 6年ふれあい前



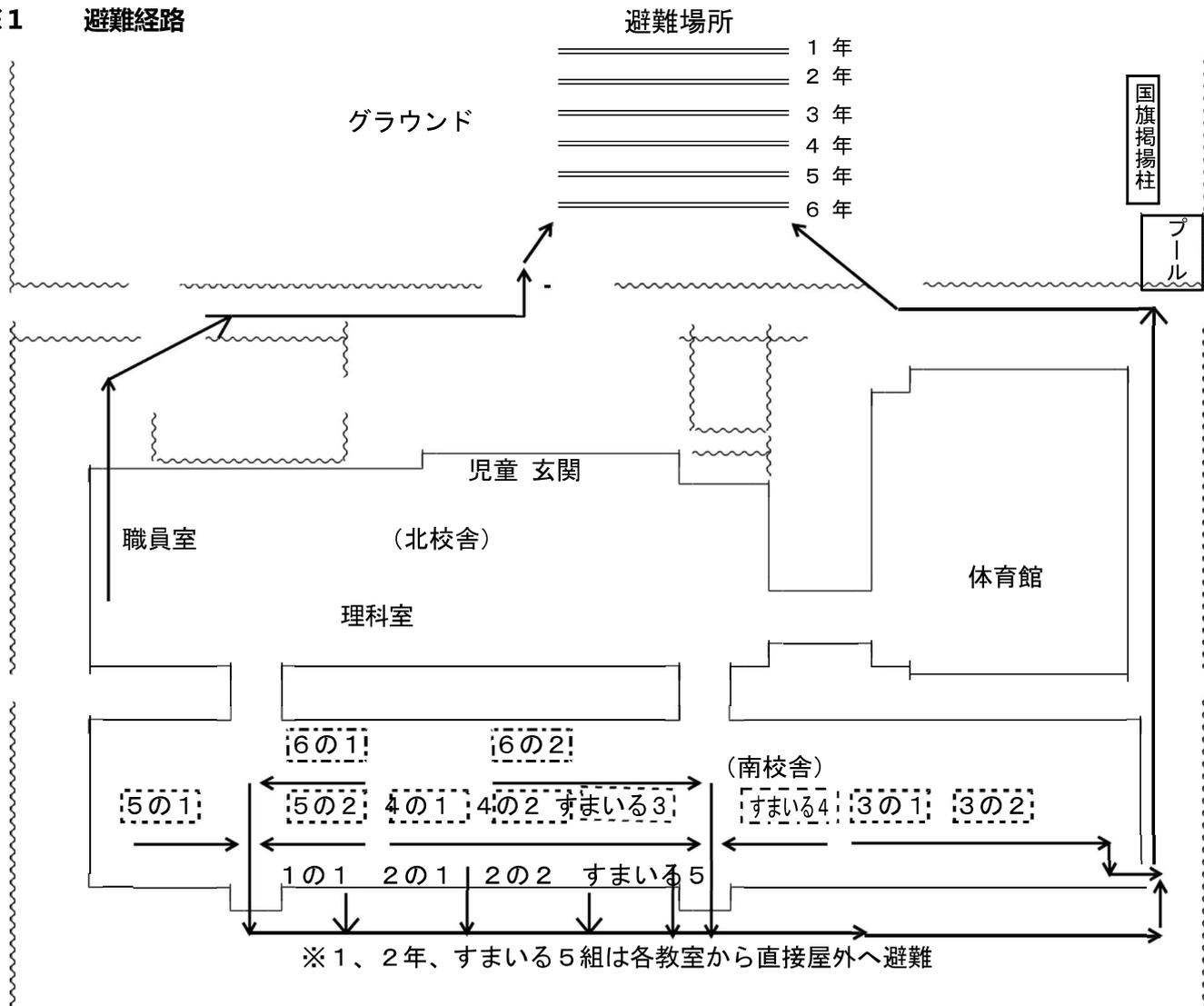
## 【緊急引き渡しカード・トランシーバーの場所】

どちらも職員室の岩戸横にあります。白いかご一式を運びます。  
中には、緊急引き渡しカード・マイク・トランシーバーが入っています。



# 避難経路(晴れプログラム)

## ※1 避難経路



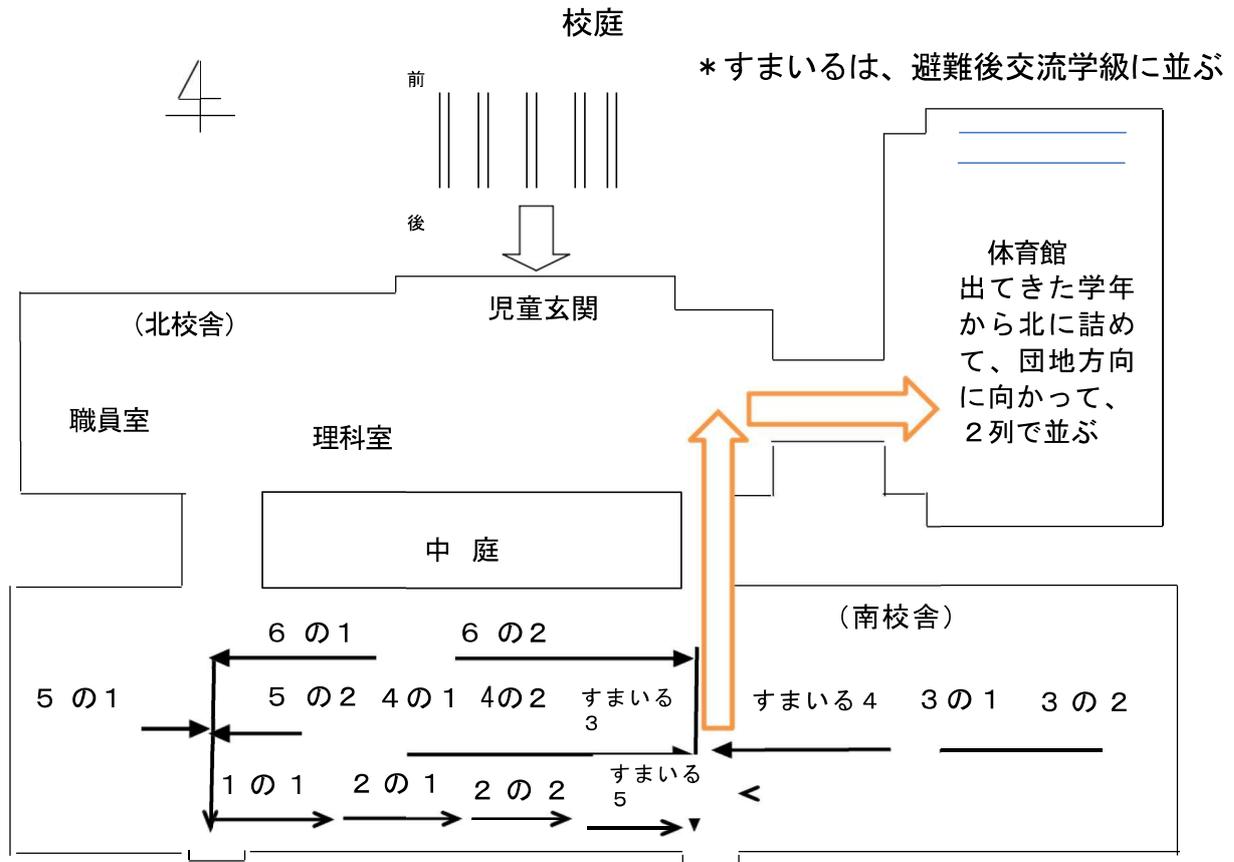
※階段を下りる時は、下の学年を優先する。上の学年はぶつからないよう配慮する。

西階段... 5年1組2組おりて6年1組

東階段... すまいる3組すまいる4組おりて4年2組1組→6年2組

児童クラブ玄関... 3年1組3年2組

## 避難経路(雨プログラム)



※雨の場合の避難訓練は、体育館への避難になります。南校舎側から、東側1階廊下を通って、体育館に向かってください。原則下の学年を優先してください。

**2階トレーニング室の階段から体育館に出る学年** ※今回は地震のみ、火災無しの訓練のため。

火災があれば、火元から遠ざかり避難すること。

3の1 3の2 4の1 4の2

※今後、朝礼などの集会のときも、今年度は同じ出方とする。

(学年によって人数が違うため、年度初めに、出方はそろえる。)

### 《低学年広場に避難する場合》

低学年広場

5年 1年 2年 4年 6年 3年

※暫定的に並び方を記載しているが、避難場所に着いたクラスから、学年・クラスを問わず広場の児童クラブ側から並んでいく。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書（講義形式）

学校名	勝山北部中学校
報告者	前田 宏治

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者（学年・人数）等

(1) 実施期日 令和7年9月19日（金） 13:00～14:00

(2) 参加者 前田 宏治（教頭・学校安全担当）

(3) アドバイザー 立平 政勝 氏

(4) その他 実施要項（案）、進行表を別添

#### 2. 実施の目的、内容

##### (1) 目的

- ・11月実施予定の避難訓練（水害からの避難）について、実施計画についてアドバイスをいただき、よりよい訓練を実施するため。
- ・避難訓練後の生徒向け防災教室および教職員向け防災研修について打ち合わせを行い、より充実した教室・研修を実施するため。

##### (2) 内容

- ・避難訓練の実施計画についてアドバイスをいただきたい。  
→概ね計画通り実施できると思う。どのような防災教室を実施したいのかを、しっかり打ち合わせしたい。
- ・災害時における湯煎による炊飯体験を実施できないか。  
→材料が準備できれば可能であるが、全校生徒分は難しいだろう。クラスの代表という形で体験しているのを見てもらってはどうか。
- ・災害被害の経験がなく、防災意識の低い生徒に対し、実際に数年前、身近に起こった水害時の様子を写真等で提示することはできないか。  
→手持ちの資料があるので、防災教室の際に見せることはできる。短い動画もあるので紹介できる。
- ・以前の研修で、中学生は「避難所で助けられる側から、助ける側」にならなくてはいけない、という言葉聞き大変印象深かった。そのような話もしてもらえないか。  
→可能なので、話の中に盛り込みたい。

### II 成果と課題

#### 1. 成果

- ・これまで災害からの避難訓練というと、地震発生後の火災からの避難訓練が一般的に行われており、水害からの避難は経験も計画もしたことがなかった。学校防災アドバイザーとの打ち合わせを通して、イメージをもつことができたのは良かった。
- ・以前の研修で、防災の基本は「危機意識をもつ」ことであるとの話を聞いた。災害とは縁遠い生活をしている私たちにとって、この言葉が大変意味深い言葉であるが、どのように生徒・教職員に浸透させていけばよいか、相談できたこともありがたかった。

#### 2. 課題

- ・これまでの避難訓練と違い、机の下に隠れたり、火元から遠ざかったりするような生徒のアクションがなく、生徒自身もイメージしづらい訓練となることが予想される。事前指導を通して生徒も教職員も危機感をもって訓練に臨ませたい。
- ・地域を巻き込んだ訓練の必要性を感じるが、校区が非常に大きく山間部等にお住まいの方も少なくない。また少子化の影響により生徒数が激減していることもあり、訓練の周知方法や訓練を実施した際の生徒、教職員の動き等について全く想像ができない。今回のような機会を活かして、少しずつクリアにしていきたい。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(避難訓練・防災教室・職員研修)

学校名	勝山北部中学校
報告者	前田 宏治

### I 避難訓練の実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

(1) 実施期日 令和7年11月11日(火) 13:30~16:40

(2) 参加者 全校生徒 115名 教職員17名

(3) アドバイザー 立平 政勝 氏

(4) その他 実施要項、進行表を別添

#### 2. 訓練の目的、内容

○目的・内容…別添資料参照

### II 訓練の成果と課題(避難訓練・防災教室振り返りを別添)

#### 1. 成果

- 例年、地震や火災からの避難訓練に取り組む事が多いが、今回は水害からの避難ということで、生徒にとっても教職員にとっても、良い緊張感で訓練に臨むことができたのが良かった。特に、二次避難について生徒には伏せておき、その場で指示したことは効果的な訓練となった。
- 防災教室を行ったことで、勝山北部中学校が水害において危険な地域であることや数年前に学校周辺で浸水被害があったことを知れたり、ハザードマップの確認や避難のタイミングや場所について家族との相談について考えたりすることができた。
- 災害時の非常食として、湯煎による炊飯体験は、単にお米や水を入れるだけの作業であったが、そのような方法があるということを知るだけでも、大変有意義であった。
- 災害に対する安全について今回のように時間をかけて考えたことがなかった職員がほとんどであるが、職員研修を実施し、職員みんなで理解を深めることができたことは、生徒の安全という点からも大変良かった。
- 避難訓練と防災教室が早く終わり、立平先生が早く手が空いたため、参観されていた先生方からの質問会をもつことができた。単に訓練を見ていただくだけでなく、多くのことを学んで帰っていただくことができた。

#### 2. 課題

- 職員の振り返りにもあるように、AEDの持ち運びについて全く意識がなかったことは大きな課題である。「担当者が」ではなく「みんなが」意識をもたなくてはいけない点であった。次回以降、生徒を含めた共通理解をしたい。
- 保護者への引き渡しを想定し、引き渡し場所(生徒玄関)と待機場所(体育館)とのやりとりビデオ通話を利用した。一方、保護者や外部からの問い合わせに電話対応している職員室とやりとりするラインを検討しておらず、課題となった。
- 学校安全に必要な訓練は火災や地震からの避難、不審者対応や事前災害対応など非常に多岐にわたっている。また、負傷者の有無や職員の在校状況など、シチュエーションを加えると、必要な訓練は無数に存在する。継続的に訓練に取り組む事はもちろん、系統的な訓練の配置や職員研修など、学校安全計画や危機管理マニュアルの見直し・改訂が急務であると感じた。



# 令和7年度避難訓練（水害）および防災教室・職員研修実施要項

勝山市立勝山北部中学校

## 1 目的

### 【教職員】

- (1) 近年頻発する自然災害からの避難を訓練することで、災害を身近に感じるとともに緊急時の対応について学ぶ。
- (2) 危機意識を持ち、日頃より安全対策への関心を高める心情を育てる。

### 【生徒】

- (1) 放送を聞いたり、教職員の指示を聞いたりして、速やかに行動する。
- (2) 防災教室を通して、自然災害の恐ろしさやその対応について学ぶ。

## 2 日時 令和7年11月11日（火）

避難訓練	13:30～14:00（30分）
防災教室	14:10～15:00（50分）
振り返り	15:00～15:10（10分）
職員研修	16:10～16:40（30分）

## 3 対象 全校生徒115名 教職員16名

## 4 指導 福井県学校防災アドバイザー 立平 政勝 氏

## 5 避難訓練および防災教室・職員研修の流れ（別添：進行表）

### 【避難訓練】

- (1) 線状降水帯の影響を受け、朝方から降水量が増加する。
  - ・気象庁や地方気象台の降水量予想等を確認しながら、情報を収集する。
  - ・通常の活動をつづけながら、収集した情報をもとに、次の行動について検討する。
- (2) 勝山市に大雨警報、氾濫警戒情報が発令され、河川の氾濫の危険度が高まったため、引き渡しによる下校を決定する。
  - ・生徒は下校準備をし、体育館に集合する。
  - ・教職員は引き渡しに備え、準備を始める。
- (3) 勝山市に大雨特別警報が発令され、下校・引き渡し困難と判断し、3階への垂直避難を決定する。
  - ・生徒は荷物をもって3階へ移動する。

### 【防災教室】

- (4) 避難場所から体育館へ集合する。
- (5) 立平氏に防災教室をお願いする。
  - ・訓練についてのご高評
  - ・災害からの避難や日頃の備えについて
  - ・炊飯体験
- (6) 教室に戻り、避難訓練や防災教室の振り返りを行う。（google formにて）

### 【職員研修】

- (7) 図書室へ集合する。
- (8) 立平氏に研修をお願いする。
  - ・訓練についてのご高評
  - ・訓練する際のポイントについて
  - ・学校職員全員が同じレベルの危機感をもつことについて
  - ・日常の危機管理について

## 6 留意事項

- ①以下の点について、確実に生徒への事前指導を行う。
  - ・生徒には、事前に訓練の意図を知らせておき、いつでも起こりうることとして真剣に参加する心構えをつくらせる。
    - 令和5年に発生した大雨被害を振り返る。
    - 自然災害が発生した際の避難場所・経路、持ち出し物等について、家族や友人と話し合う。
- ②職員は各自の使命を自覚し、毅然たる言動で訓練に臨む。
  - ・生徒の命を最優先に行動する。

☆令和7年度 避難訓練 事前確認

チェック	番号	内容
	1	令和5年の豪雨災害について、勝山市の被害を振り返る。 (写真、動画等) ・身近な地域も被災していた状況を知る。 ・100%安全ではなく、自分たちも被災する可能性があることを知る。
	2	もし被災した時のことについて、友達と意見交換をする。 ・家族との待ち合わせ場所や、〇〇にいた場合の避難について情報交換をする。 ・非常持ち出し物について、準備の有無や準備物の情報交換をする。 ・勝山市のハザードマップを確認する。

7 避難行動（避難最優先）

- ①各教科担当（5限目授業者）は、放送内容を確認後、下校準備をさせる。
- ②消灯と教室の外側の窓閉めを指示し、廊下整列に整列させる。
- ③男女各1列に並べ、室内の生徒不在を確認後、廊下の外窓閉めを指示する。
- ④各担任は避難経路を指示後、避難を開始させる。避難経路途中に残留生徒がいないか確認をしながら生徒の末尾から避難する。
- ⑤階段や非常口では、先に到着した生徒を優先する。※階段途中で、止まる場合は要注意！
- ⑥職員室在室職員は、手分けして家庭状況調査表、救急箱、体育館放送室鍵を持ち出す。  
(※出席簿については、学級担任)

8 立平氏からの主な指導事項

- ・避難訓練についての講評
- ・災害避難時の炊飯体験指導
- ・数年前に校区内で起こった水害について、被災状況説明
- ・災害からの避難や日頃の備えについての助言

9 避難場所・隊形

《一次避難場所：体育館》

《二次避難場所：校舎3階》

ステージ						
1	—	1	…	3	—	2
担任	女	男		担任	女	男
	女	男			女	男
	女	男			女	男
	女	男			女	男

- 1年生：第2理科室
- 2年生：音楽室
- 3年生：自教室

※隊形等については各学年適宜、指示をお願いします。

10 事後指導

学級ごとに、避難状況の実態を把握し、緊急避難の仕方、大切さ、生命の尊重等の再指導を行い、態度、能力の育成を図る。

11 評価の観点（生徒はGoogle フォームを活用して評価する。）

- ①静かに緊急放送が聞けたか。
- ②口を閉じ、落ち着いて避難ができたか。
- ③職員の指示、誘導は的確であったか。
- ④市教委や保護者への連絡の仕方が適切であったか。
- ⑤人員確認が迅速に行われたか。

12 その他

- ・訓練当日の30分前を目安に、市教委（88-8112）へ事前連絡を入れる。（教頭）
- ・県の「学校安全総合支援事業」の一環として実施するため、市内の教職員が参観のため来校されるかもしれません。



令和7年度 勝山北部中学校  
避難訓練 進行表

時間	訓練の流れ・職員の動き	生徒の動き
13:00	<p>○訓練実施の連絡をする。【教頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市教委 (●●●) ※事前に届提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常通り昼休みを過ごす。</li> </ul>
	<p>○降水量が増加してきたことを想定し、職員に降水予想や天候の推移を確認するよう、指示する。【教頭】</p> <p>教「A先生と、B先生は今後の降水や天候について情報を集めてください。」</p> <p>※気象庁や福井气象台、勝山市のHPなどを参考に情報を集める。</p> <p>○管理職は状況の推移をみながら、今後の行動について検討する。【校長・教頭】</p>	
13:20	<p>○5限目を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の授業を開始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科担任が監督する。</li> </ul>
13:30	<p>○勝山市に大雨警報、氾濫警戒情報が発令され、災害の危険度が高まったため、引き渡しによる下校を決定する。【校長】</p> <p>校「教頭先生は、引き渡し下校について保護者への連絡をお願いします。」(C4th 連絡・職員のみ)</p> <p>校「C先生は、生徒を体育館へ集合させてください。」</p> <p>「D先生は、市教委への連絡をお願いします。」</p> <p>○「訓練、訓練、現在勝山市に大雨警報と氾濫警戒情報が発令されています。大変危険な状況であると判断し、保護者のお迎えによる引き渡し下校を行います。生徒のみなさんは下校準備をし、体育館へ集合してください。」</p> <p>○「訓練、訓練、勝山北部中学校です。現在発令されている大雨警報、氾濫警戒情報を受け、引き渡しによる下校を行います。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※●●先生と●●先生はタブレットを持って生徒玄関へ移動する。</li> </ul>	
13:35	<p>○一次避難を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急持ち出し出欠ボードとタブレット、学校用スマホをもって体育館へ移動する。【教頭】</li> <li>・職員室にいる職員は家庭状況調査票とタブレットをもって体育館へ移動する。(家庭状況調査票は体育館で各学年主任に手渡す。)</li> <li>・各学年副担任や無担の教職員は生徒玄関で、迎えに来た保護者に対応する。</li> <li>☞Google Classroom “勝山北部中_教職員” の Meet 機能で体育館と連絡を取り合う。</li> <li>・職員1名は電話対応のため職員室に残る。【●●】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科担任の指示のもと、下校準備をし、体育館へ集合する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【引き渡しイメージ】</b></p> <p style="text-align: center;">Classroom【勝山北部中_教職員】で Meet につなぐ。</p> <p style="text-align: center;">生徒玄関 (●●、●●)</p> <p style="text-align: center;">⇕</p> <p style="text-align: center;">体育館 (●●、●●、●●)</p> </div>
13:45	<p>○一次避難を完了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館で各担任が在校確認をする。(担任→学年主任→教頭→校長の順で避難を報告する。)</li> <li>・体育館にいる教職員はタブレットを使って、生徒玄関にいる職員と連絡を取り合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女各1列で学年ごとに整列する。</li> </ul>

13:50	<p>○勝山市に大雨特別警報が発令され、下校・引き渡し困難と判断し、3階への垂直避難を決定する。(体育館) 【校長】 校「教頭先生は、引き渡し下校の中止と、学校での垂直非難について保護者への連絡をお願いします。」 (C4th 連絡・職員のみ) 校「担任の先生は、生徒を3階まで避難させてください。」</p>	
	<p>○二次避難を開始する。 ・各担任は、クラスの生徒を3階まで引率する。 ☞ 1年生：第2理科室 2年生：音楽室 3年生：自教室 ・担任は各避難場所で人数を確認する。 (担任→学年主任→教頭→校長の順で避難を報告する。)</p>	<p>・各担任の指示に従い、静かに移動する。</p>
14:00	<p>○避難訓練を終了する。 ・校長への避難確認報告をもって、訓練を終了する。 教「以上で水害からの避難訓練を終わります。生徒のみなさんは荷物をその場に置いて、体育館へ集合してください。」</p>	<p>・荷物を各避難場所に置いたまま体育館へ移動する。</p>
	<p>○全員の移動を確認する。 ・体育館で各担任が全員の移動をする。 (担任→学年主任→教頭→校長の順で移動完了を報告する。)</p>	<p>・男女各1列で学年ごとに整列する。</p>
	<p>○防災教室の順位をする。【教頭】 ・プロジェクター、スクリーン ・マイク×2本</p>	
14:10	<p>○防災教室を開始する。 教「今から、防災教室を始めます。」 「最初に校長先生からお話をいただきます。」</p>	
	<p>○開会のあいさつ 校「・・・・・・・・。」</p>	
14:15	<p>○講師を紹介する。 教「それでは、本日の防災教室の講師の生成を紹介します。」 「立平 政勝先生です。先生は福井県防災士会に所属されている、学校防災アドバイザーです。多くの学校で防災についてお話されたり、具体的な防災知識について伝達されたりして活躍されています。先生は勝山市にお住まいで、今日は、勝山市の防災という点から貴重なお話をいただけたと思います。生徒のみなさんはしっかりと話を聞き、今日からの生活に活かしていけると良いと思います。」 教「それでは、立平先生、よろしくをお願いします。」</p>	
14:18	<p>○講演を開始する。 ・訓練についてのご高評 ・災害からの避難や日頃の備えについて ・炊飯体験</p>	<p>【炊飯体験代表者】 1-1 ●● ●● 2-2 ●● ●● 3-1 ●● ●</p>
14:55	<p>○生徒が謝辞を伝える。 教「立平先生、ありがとうございました。ここで生徒を代表して、生徒会長の●●より、お礼を申し上げます。」 ☞「・・・・・・・・。」 教「以上をもちまして、防災教室を終わります。」 「最後に、本日、たくさんのお話をいただいた立平先生に、感謝の拍手をお願いします。」</p>	<p>生徒代表：●●●●</p>

	教「生徒のみなさんは、教室に戻り振り返りを記入してください。」	
	○立平先生を校長室へ案内する。【教頭】 ・校長室で休憩していただく。	・クラスルームのリンクから振り返りを行う。(Google form)

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(防災教室)

学校名	勝山北部中学校
報告者	前田 宏治

### I 避難訓練の実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

(1)実施期日 令和7年12月22日(月) 13:20~14:10

(2)参加者 全校生徒 115名 教職員17名

(3)アドバイザー 立平 政勝氏 二木 佐緒里氏

(4)その他 実施要項、進行表を別添

#### 2. 訓練の目的、内容

○目的・内容…別添資料参照

### II 訓練の成果と課題(防災教室振り返りを別添)

#### 1. 成果

○HUG 訓練も避難所設備設置訓練も、生徒や職員を含めてこれまで取り組んだことがなかった。そのこともあってか、とても新鮮な感覚で、大変一生懸命に取り組む事ができた。

○HUG 訓練については、避難所の喧騒感や運営側の判断の難しさを体験することも目的の一つとして考えていたが、生徒の乾燥にもそのような記述が多く、目的を達成することができたと考える。

○避難所を運営するには、避難者の健康状態や疾病の様子など様々なことに配慮する必要がある、避難者の配置や教室の使い方などに頭を悩ませる姿があった。それに加え「学校機能の回復」を条件の一つにしたため、より難易度が上がった。生徒はこの経験を通し、避難所運営の大変さを痛感することができた。

○講演等による聞く活動や、一般的な避難訓練のような防災学習も大変重要であると考えているが、今回のように生徒自身が活動を通して考え、学びを深めていく取り組みは、生徒の心に残り今後の実生活での防災につながると考える。

○職員室からのオンライン放送で指示を出したため、生徒は各教室で活動することができ、寒さ対策として有効だった。

#### 2. 課題

○HUG 訓練について、もう少し事前説明が必要だったと感じた。前述の通り、あわただしさを感じさせる目的は達成できたが、指示に全くついていくことができず、ただただカードを置いていく作業となっていたグループがあったようだ。また今回は超短縮バージョンで実施したため、本来の目的を十分に達成することができなかった。今後、フルバージョンでの取り組みも考えていきたい。

○今年度の取り組みとして、学校防災アドバイザーのお力をお借りしながら防災教室を実施したが、次年度移行、今年度の取り組みを活かしたり、どのようにつなげていったりするかが、大きな課題であると考えている。

○今回の防災教室を通して多くの生徒が、避難所運営の大変さについて感じる事ができたが「自助」から「共助」へ意識を高めることができた生徒はほとんど見られなかった。今後「助けられる側」から「助ける側」となるための意識改革や、経験を通じた準備等、日常から積み重ねを続けてはいけないと考える。



# 令和7年度 防災教室（避難所計画）実施要項

勝山市立勝山北部中学校

## 1 目的

### 【教職員】

- (1) 地震災害の発生に備え、避難所運営に関する基礎知識を習得する。
- (2) 危機意識を持ち、日頃より安全対策への関心を高める。

### 【生徒】

- (1) 地震災害の発生に備え、避難所運営に関する基礎知識を習得する。
- (2) 「助けられる側」から「助ける側」になるという意欲を高める。

2 日時 令和7年12月22日（月） 13:20～14:10

3 対象 全校生徒115名 教職員16名

4 指導 福井県学校防災アドバイザー 立平 政勝 氏

## 5 日程（別添：進行表）

### (1) 事前指導

- ・写真や動画等を用いた特別な指導は行わないが、生徒たちの自発的な意見交換を促すために、本校が避難所となった際に、自分たちができることは何か、前もって考えておくよう指示する。

### (2) 活動説明

- ・各教室で1台「classroomの勝山北部中\_\_教職員」に接続する。（モニターに接続しておく。）

### (3) グループワーク

- ・各グループ（7人程度）で、HUG（超簡易版）に取り組み、避難所となった際の避難者の受け入れやイベント発生に対処する訓練をする。
- ・同グループで、避難所となった際の教室配置について考える。  
→更衣室、授乳室、けが人部屋、発熱者室、保健室、ペット室、立ち入り禁止エリア  
物資保管場所・配給場所、掲示板
- ・グループの意見を校舎図（拡大）に書き込む。

### (4) 各教室内でグループの意見をシェアする。

- ・理由を添えて、各グループの意見を発表する。

### (5) 立平さんのお話

- ・話し合いの様子や発表を聞いた感想をお話いただく。

### (6) 振り返り

- ・google formにて振り返りを記入する。

## 7 立平氏からの主な指導事項

- ・HUGゲーム（超簡易版）や避難所計画についての振り返り
- ・災害時の要配慮者への配慮

## 8 事後指導

廊下に各クラスの配置図を掲示し、防災意識の向上を図る。

## 9 評価の観点（生徒はgoogle formを活用して評価する。）

- ①HUGについて、どのように感じたか。
- ②学校が避難所となった場合に、自分たちはどうすれば良いか考えることができたか。
- ③避難所の教室配置について、自分なりに考えることができたか。
- ②グループの話し合いに積極的に参加できたか。

## 10 準備物

### 【福井県学校防災士会】

- ・アクションカード（10分程度のカードを印刷）

### 【勝山北部中学校】（各グループに配付）

- ・学校見取り図（A3）×2
- ・対応済みカード（A3）
- ・避難所配置施設一覧（A4）
- ・記入見本（A4）
- ・マジック

### 【勝山市教育委員会】（各グループに配付）

- ・校庭図（A1）
- ・体育館図（A1）

# 防災教室（避難所計画）自己評価

年 組 番 名前( )

今日の防災教室（避難所計画）の自己評価をしましょう。（当てはまる項目に○をつけてください。）

1 HUGについて、どのように感じましたか。


2 学校が避難所となった場合に、自分たちはどうすれば良いか考えることができたましたか。

ア) しっかりできた      イ) まあまあできた      ウ) あまりできなかった      エ) 全くできなかった

3 避難所の教室配置について、自分なりに考えることができましたか。

ア) しっかりできた      イ) まあまあできた      ウ) あまりできなかった      エ) 全くできなかった

4 グループの話し合いに積極的に参加できたましたか。

ア) しっかりできた      イ) まあまあできた      ウ) あまりできなかった      エ) 全くできなかった

5 立平さんに質問したいことがあれば書きましょう。


令和7年度 勝山北部中学校  
 防災教室（避難所計画） 進行表

時間	訓練の流れ・職員の動き	職員の動き	生徒の動き														
事前		<ul style="list-style-type: none"> <li>1 グループ7人までのグループ分けをしておく。</li> </ul>															
13:00	○最終の打ち合わせを行う。 （立平さん、前田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「classroomの勝山北部中_教職員」に接続し、モニターの準備をしておく。</li> <li>生徒の机を後ろに下げて床で作業するか、机を合わせて作業するか、どちらかの準備をしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常通り昼休みを過ごす。</li> </ul>														
13:20	○校長室から一斉配信を行う。 ※本時の活動について説明を行う。 （前田） <ul style="list-style-type: none"> <li>大地震の際、本校が避難場所になること。</li> <li>2部構成で活動を進めること。</li> </ul> ※準備物を配付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な準備物を配付する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教室で説明を聞く。</li> <li>グループ活動の準備をする。</li> </ul>														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p><b>【配付物一覧】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>アクションカード</td> <td style="text-align: right;">一式</td> </tr> <tr> <td>校舎見取り図（A3）</td> <td style="text-align: right;">1枚</td> </tr> <tr> <td>記入見本（A4）</td> <td style="text-align: right;">1枚</td> </tr> <tr> <td>対応済みカード（A3）</td> <td style="text-align: right;">1枚</td> </tr> <tr> <td>校庭図（A1）</td> <td style="text-align: right;">1枚</td> </tr> <tr> <td>体育館図（A1）</td> <td style="text-align: right;">1枚</td> </tr> <tr> <td>マジック</td> <td style="text-align: right;">一式</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※各学年で準備をお願いします。</p> </div>				アクションカード	一式	校舎見取り図（A3）	1枚	記入見本（A4）	1枚	対応済みカード（A3）	1枚	校庭図（A1）	1枚	体育館図（A1）	1枚	マジック	一式
アクションカード	一式																
校舎見取り図（A3）	1枚																
記入見本（A4）	1枚																
対応済みカード（A3）	1枚																
校庭図（A1）	1枚																
体育館図（A1）	1枚																
マジック	一式																
13:25	<p><b>【第1部】</b></p> ○HUGについて説明する。（立平さん） ※自動音声に従う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>避難者カードやイベントカードを表示する。</li> </ul> ○各教室の活動の様子を巡回する。 （立平さん）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラス担任は、避難者カードを自動読み上げが始まったら、そのカードを各グループに配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難してきた住民をどのように振り分け、配置するか考え対応する。</li> <li>発生するイベントに対してどのように対応するか考え対応する。</li> </ul>														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p><b>【簡単なルール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難してきた住民を、体育館やグラウンドに配置する。</li> <li>○校舎を利用することも可能である。（直接マジックで記入する。）</li> <li>○判断に迷ったり次の対応を迫られたりしたときは、そのカードは、対応済みカードの場所に置いておく。（余裕があるときに再考する。）</li> <li>○カードの内容以上に必要な情報は、直接マジックで記入する。</li> <li>○極力、先生方は手を貸さずに、生徒に判断させる。                          →避難所の煩雑さや喧騒感を体験することも目的の一つである。</li> </ul> </div>																	

13:30	<p>【第2部】</p> <p>○避難所計画について説明する。  ※避難者数(約100人程度)  ※学校の状態  →校舎の大きな損傷なし  →インフラの心配なし  ※できるだけ早く授業再開を目指す。</p> <p>○各教室の活動の様子を巡回する。  (立平さん)</p>	<p>・必要な準備物を配付する。</p> <div data-bbox="775 264 1430 439" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【配付物一覧】</p> <p>校舎見取り図(A3) 1枚  避難所配置施設一覧(A3) 1枚  マジック 一式  ※各学年で準備をお願いします。</p> </div>	<p>・各教室で説明を聞き、ワークショップを実施する。  ・避難してきた人に対する各部屋の利用計画をグループで考える。また、その理由についても考える。  ☆更衣室、授乳室  けが人部屋、発熱者室  保健室、ペット室  立ち入り禁止エリア  物資保管場所  物資配給場所  掲示板  ・校舎図にグループの意見を書き込む。  ・前述以外の利用計画は考えなくて良いのかをグループで考える。ある場合は、新しい利用計画とその理由も考える。</p>
13:50	○各グループの意見をシェアする。	<p>・グループの書き込みを黒板に掲示し、発表させる。  ・時間によって発表するグループ数をコントロールする。</p>	<p>・理由を添えて、グループの意見を発表する。</p>
13:55	○立平さんから、お話をいただく。	<p>・「classroomの勝山北部中_教職員」に接続し、モニターを写す。</p>	<p>・立平さんのお話を聞く。</p>
14:05	○振り返りをさせる。		<p>・クラスルームのリンクから振り返りを行う。  (Google form)</p>
14:10	○終了	<p>・配付物を全て回収し、前田の机上まで戻す。</p>	

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書（講義形式）

学校名	村岡小学校
報告者	岡崎 一郎

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者（学年・人数）等

講師 学校防災アドバイザー 立平 政勝氏

令和7年9月1日 15:00～16:00

村岡小学校教職員 15名

「土砂災害時における対応研修」

#### 2. 実施の目的、内容

本校は、土砂災害警戒区域になっており、一部は土砂災害特別警戒区域となっている。近年は集中豪雨も頻繁に起きており、本校もいつその被害に遭うとも限らない。当然、児童を避難させる事態がいつ起きるとも限らない。そこで、児童の命を守ることができるように、まずは教職員に土砂災害への準備と、避難命令が出た際の児童の誘導を早急に行うことができるよう教職員の研修を企画した。

### II 成果と課題

#### 1. 成果

立平氏をお招きし、スライドを使って避難のポイントを教えていただいた。ハザードマップを使って、地域の地形の特徴や、大雨の際の河川の変化について教えていただいた。また、避難訓練のポイントも教えていただき、役割よりも協力体制が重要であることを教えていただいた。教員の出張等で、その穴をいかに埋めるのかが大切であることを認識した。また、積雪時などでの避難訓練への提案もいただいた。

#### 2. 課題

研修を終えて、本校の防災への課題として以下の4点が見えてきた。

- ①警戒区域の危険性を地図で具体的に理解できていない。
- ②避難判断の基準が曖昧で行政任せになる。
- ③実地での避難シミュレーションが不足している。
- ④児童の特性や通学路の危険への想定が不十分である。

画像（打合せ、訓練、講評等）も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書（講義形式）

学校名	村岡小学校
報告者	岡崎 一郎

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者（学年・人数）等

講師 学校防災アドバイザー 立平 政勝氏

10月22日 13時40分～14時25分

5, 6年生 56名

「災害時におけるマイタイムライン作り」

#### 2. 実施の目的、内容

マイタイムライン作りは、児童が自分や家族の命を守るために、災害発生時の行動を自ら考え、事前に準備する力を育成することを目的として行った。また、地域の災害リスクを理解し、適切な避難行動につなげることを目的とした。

### II 成果と課題

#### 1. 成果

- ・「いつ・どこで・何をするか」が明確になり、自分なりに判断してマイ・タイムラインを作成している児童が見られた。
- ・ハザードマップの見方を学び、自分の家や学校周辺にどんな危険があるかを理解した。
- ・「どの場所が安全か」「どんな災害が起こりやすいか」を判断できるようになった。

#### 2. 課題

マイ・タイムライン作成について、十分な時間を確保できなかったことが課題として挙げられる。一部の児童は行動計画を詳しく書き込むことが難しく、家庭での話し合いを前提とした内容の深まりに課題が残った。

また、災害情報の読み取りや地域の危険箇所の確認など、マイ・タイムライン作成に必要な基礎学習にさらに時間を割くことで、児童の理解がより確実になると考えられる。



画像（打合せ、訓練、講評等）も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)



画像（打合せ、訓練、講評等）も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(講義形式)

学校名	万葉中学校
報告者	澤村 仁

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者(学年・人数)等

「第1回万葉中校区小中学校安全防災研究協議会」

期 日:7月22日(火)14:00~15:30

場 所:万葉中学校教室

参加者:万葉中6名、北日野小2名、北新庄小2名、味真野小2名、王子保小1名

学校防災アドバイザー1名 田中 周太郎 (敬称略) 計14名

#### 2. 目的

地域の特性に応じた危機管理マニュアルの見直しや、避難訓練についての講義や助言、小中学校区での意見の交流を通して、学校安全についての意識を高める。

- 内容
- 1 学校防災と安全についての講義
  - 2 地域に応じた危機管理マニュアルの点検、見直しについて
  - 3 避難訓練についての助言
  - 4 質疑応答

### II 成果と課題

#### 1. 成果

事前に、学校防災アドバイザーが、本校の危機管理マニュアルの内容を点検し、地域の特性に応じた見直しを行ったうえで、協議会で、詳細を詳しく説明していただいた。教員側の学校防災に対する意識がより高まった。また小中学校区で話し合ったことで、問題点や疑問を共有することができた。

また避難訓練についても、今回は初めてとなる試み(放送機器無し、時間予告なし、通行不能あり等)が多いので、さまざまなアドバイスをいただき、計画の見直しをすることができた。命を守る訓練として、段階的に、かつ実践的に訓練を行う必要性を実感した。

#### 2. 課題

実際の災害が起こった時に、生徒が自ら判断し、避難しようとする意識や態度を育成していくことが課題である。学校が命の最期の場所であってはならず、そのための避難訓練であると考えている。今回の協議会をふまえて、教員全体で、学校安全、防災についての意識を共有し、実践的で、生徒が主体的に行動できる避難訓練に取り組んでいきたい。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(避難訓練)

学校名	万葉中学校
報告者	澤村 仁

### I 避難訓練の実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

「第2回万葉中校区小中学校安全防災研究協議会」(学校安全総合支援事業 避難訓練)

期 日: 11月12日(水)13:10~14:30

場 所: 万葉中学校校舎内

参加者: 北新庄小1名、北日野小1名、味真野小1名、王子保小1名  
武生第六中1名、武生東高校1名、南越特別支援学校1名  
(各校の安全担当者)

万葉中3名(校長、教頭、安全担当)

学校防災アドバイザー5名 田中 周太郎、内田 嘉寛、河嶋 径子、加藤 吉則、井上 亮  
(敬称略)計15名

内 容: 避難訓練(放送機器の使用無し、事前予告1週間の間、事前指導あり)を実施し、その様子を見学する。

その後、万葉中の安全担当から中央研修で学んだことを含めた今回の避難訓練の目的と概要を説明する。そのうえで学校防災アドバイザーの方々や、各校の安全担当の先生方と意見を交流し、アドバイスを受けて、今後の改善点などについて協議する。

#### 2. 訓練の目的、内容(※訓練実施計画の添付でも結構です) ※別添

### II 成果と課題

#### 1. 成果

中央研修を通して、初の取り組みになる、以下5点を含めた実践的な避難訓練を行った。

- ①放送機器無し
- ②災害発生時刻は生徒に周知せず、そのため教員不在のクラスもある。
- ③校庭よりも安全な体育館へ避難する。
- ④地震は余震の時間も含めた5分前後の設定にする。
- ⑤当日は通行不能通路があり、迂回が必要。

生徒に事前指導を行い、本校教員によるシミュレーションも実施した。当日は生徒、教員とも、真剣に行動でき、学校防災アドバイザーの方々からは、態度、避難に要する時間も含め、高評価をしていただいた。さらに学校防災アドバイザーから、生徒たちに、ガラスの近くには、とどまらない。机の脚を両手で支える等の、具体的なアドバイスを伝えていただくことで、実際の災害をふまえた、防災、安全に対する意識を高めることができた。

さらに他学校の安全担当の先生方と意見を交流し、それぞれの避難訓練の実情を話すことで、防災・安全に対する課題を共有し、改善への手立てをともに考えることができた。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

## (様式 2)

### 2. 課題

今回は訓練であったため、教員は事前に打ち合わせされたそれぞれの役割を果たした。しかし実際には、教員が生徒の近くにいない状況が考えられる。その際にも教員は冷静に行動できるように、危機管理マニュアルや校内研修を通して、自分の動きと役割分担、避難経路や連絡確認方法を常に共有しておくことが大切であると感じた。

また避難訓練以外にも、普段から校内の危険な箇所（崩れやすい所、固定されていないもの、スズメバチの巣や発生する場所等）の把握を全体で共有し、対策を考え、できることから実行していくことが大切であると感じた。



#### 【生徒の感想】

小学校の時の避難訓練はあまり実感がわきませんでした。けれど、最近地震も増えて能登半島の地震もあって福井も揺れて、大きい揺れを初めて体験しました。地震は人事じゃなくて本当にいつ起きるか分からないものだと感じ、前よりも避難訓練の大切さがわかりました。それに前よりも本気で訓練に取り組むことができました。今回は、休み時間という先生がいないかもしれない時間だったので、とても緊張感があって真剣に取り組むことができました。今回の避難訓練では、自分で考えることがたくさんあって、命を守るためにも自分で冷静な判断をすることが大事だと思いました。例えば、周りに物があつたら落ちて来ないように、少し別の場所で頭を守ったり、窓の方には近づかないようにしたりしました。これからも命をまもるために、しっかり訓練をしていきたいです。(中1女子)

普段は先生の言われたように行動して、地震のくるタイミングがわかっていたので当たり前のようにできていたけど、今回はいつくるかもわからず、先生のいないという新しい経験でした。「他の」ではなく、「自分の」意思で判断し、行動しないといけません。普段よりも難易度が高い訓練でしたが、しっかりと行動することができたと思います。これから先、いつ地震が起こるかわからないので気をつけて過ごしたいと思いました。(中2女子)

今日の避難訓練のように放送が使えなくなることがあるから、素早くて確かな行動をして身の安全を守りたい。今までの避難訓練では話している人も見かけたこともあるけれど、今回のように放送機器が使えないとなると指示を聞くのがとても大切だし、身の安全を守ることもなるから地震が起きた時には絶対に喋らず落ち着いて行動していきたい。また地震はどこで起こるかもいつ起こるかもわからないから家の本棚や危ないところをしっかりと耐震補強したい。そして、こんな安全な生活が地震で無くなることがあるからしっかりと1日1日を大事にしていきたいし、家族で防災についても話あっていきたい。(中3男子)

画像（打合せ、訓練、講評等）も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

【中央研修で学んだことの共有と今回の避難訓練の概要のスライドの一部抜粋】(当日使用)

# 子どもの命を守り切ること



学校は子どもの命をあずかる場であり、学校が、命の最期のものであるとはならない。

## 実際の地震と避難訓練のちがいは？…

### ■ 過去に高確率で起きていること:

- 余震(科学的には100%起きる)
- 停電・校内放送の停止
- けが人・体調不良者の発生

訓練では  
起きないこと  
になっている

### ■ 過去に一度も起きていないこと:

- 耐震化された学校の倒壊

起きること  
にしている

避難訓練は「校庭に行くことが目的」になっていないか

## 静かにさせる→主体的な教育へ

静かにさせることが、避難訓練の目的ではない。脅しでは、その場でしか、先生の前でしかできない。災害は先生がいる時に起きるとは限らない。



教員も生徒も命を守るために、真剣かつ実践的に行える訓練の構築を、段階的に行うことが必要

- ①事前指導を行う
- ②いつ起こるかはわからない
- ③放送機器を使わない
- ④避難場所は体育館

(様式 2)

## 実際の災害に応じた地震避難訓練(放送機器使用なし)

万葉中学校

### 1)目的

- ・ 休み時間等の地震発生に際して、冷静に状況を判断するとともに、迅速に避難する態度を養う。
- ・ 地震発生に際して、教職員が情報を正確に把握し、適切な判断や指示ができるようにする。

### 2)日時

令和7年11月12日(水) 昼休み

### 3)設定

昼休みの時間に、越前岬沖を震源とする震度6強程度の揺れが起こる。生徒には、事前に訓練日時を1週間以内のどこかで起こると伝える。放送機器が使えない状態を設定して、避難誘導を行う。それぞれの場所で身を守る行動をとる。その後口頭指示で、体育館に避難する。

### 4)訓練の流れ

時刻	概要と口頭指示	教員の動き	生徒の動き
13:10	○音声警報  周囲の先生 「今いるその場で身の安全の確保をなさい。頭を保護し、姿勢を低くして、安全な行動をとりなさい。」 (生徒に事前指導済み)	■ 警報ボタンを押す・・・副担任 (警報が流れている間は地震でゆれている設定 約4分間)  ■ 体育館担当教員	■ 音声警報を聞く ■ 身の安全を確保する。 ■ 無理に教室に戻らず、その場で安全な行動を取るよう指示する。 ■ 体育館にいる生徒、体育館に近い生徒は各自体育館へ行く。
13:15	○被災状況の確認  職員室にいる教員は職員室前方に集まる。各階へ指示を出す。  校長は教員に各階への指示を出す。	■職員室 校長・教頭・教務・防災担当者・事務 各階の教員と連携して、生徒の安全を確保し、安否確認を行う。 (学年主任は大廊下、教室のT字箇所、副担任の先生は各階巡回) 3年主任・・・3階に呼びかけ、巡回 2年主任・・・2階に呼びかけ、巡回 1年主任・・・1階に呼びかけ、巡回  ■教員は直ちに近くの生徒の安全確認に努める。	■身の安全を守る行動を維持しながら、指示が通るように、静かに避難に備える。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

13:17	<p>○生徒および避難経路の安全確認</p> <p>校長は、教頭、教務に、体育館に本部を設置する指示を出す。</p>	<p>■各学年へ伝え、大声でお互いに真剣に確認する。</p> <p>聞く先生：「先生方、確認をお願いします」 聞かれた先生 「 年 組 大丈夫です」 1年生：1年副担任 2年生：2年副担任 3年生：3年副担任</p> <p>■養護教諭は負傷者に備える。</p>	<p>■身の安全を守る行動を維持しながら、指示が通るように、静かに避難に備える。</p>
13:19	<p>○避難開始</p> <p>(確認ができたら) 学年主任、またはその場の先生</p> <p>「体育館に避難します。先生のあとに続いて、安全に避難しなさい。危険な箇所を避け、頭を守りながら移動をしなさい。」</p> <p>生徒はばらばらに集まってくるので、体育館では、クラス別に確認する。</p>	<p>■教頭、教務は本部を避難所に設置する。</p> <p>■教務は、家庭連絡票を持っていく。</p> <p>※災害のため、通行不能な場所を作り迂回する(2階職員室横階段使用不能)</p> <p>■教員は生徒の誘導をする。</p> <p>■最後に残っている生徒がいないか確認をして避難所に向かう。</p> <p>3階：3年教員 2階：2年教員 1階：1年教員</p>	<p>■速やかに避難場所に移動する。</p> <p>3年1、2組 職員室横階段 3年3、4組 LL室横階段 2年生 体育館前方階段 1年生 体育館へ直進</p> <p>■教室の近くの生徒は、戻り全体で移動</p> <p>■教室から離れている生徒は、その場で指示を聞き、移動する。</p>
13:24	○点呼完了・避難完了	<p>■全校集会の隊形でならべる。</p> <p>■人員の確認、管理職への報告を行う。 担任→教頭→校長の順に報告する。</p>	<p>■避難と同じように、真剣に静かに行う。</p>
13:27	校長講話	<p>■司会：安全担当者が行う。</p>	<p>■真剣に講話を聞く。</p>
13:30	学校防災アドバイザーさんからの講話		
13:45	○ふり返り	<p>■各クラスで、避難訓練で成長した部分、今後の課題をふり返るよう指示する。</p>	<p>■避難訓練について、ふり返り、感想を書く。</p>

【事前指導】11月10日(月)の朝の時間(20分)で、事前指導を行い、1週間以内で避難訓練があること、放送機器は使えないこと、教員がいなくても安全確保に努めることを伝える。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書Ⅰ (講義形式)

学校名	南越中学校
報告者	西田 耕基

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者(学年・人数)等

「第1回南越中校区小中学校安全防災研究協議会」

期 日:7月22日(火)14:00~15:30

場 所:南越中学校会議室

参加者:南越中3名、岡本小1名、花筐小2名、南中山小2名、服間小1名

学校防災アドバイザー2名 打谷 由起子 内田 嘉寛 計11名

#### 2. 目的

学校防災アドバイザーより学校防災についての知識を学ぶ。また、自校の危機管理マニュアルの見直しや避難訓練実施に向けて助言をもらう。

- 内容
- 1 学校防災についての講義
  - 2 危機管理マニュアルの見直し
  - 3 避難訓練実施に向けての助言

### II 成果と課題

#### 1. 成果

学校防災アドバイザーから防災についての知識を学ぶことで、実際に災害が起こったときの行動の仕方や災害が起こったときのための準備について確認することができた。また、小中合同で協議会をしたことで、他校の危機管理マニュアルの内容や避難訓練の実施方法など参考になった。子どもたちの命を守る立場として、危機感を持つことができ、より防災について学ばなければならないという意識が高まった。



#### 2. 課題

地域との連携が今後の課題である。保護者や自治振興会、地域の方と防災について学ぶ機会を設けたり、地区の避難訓練などにも生徒自身が地域の方とともに参加したりすることで、いつ起こりうるかわからない災害に備え、自助や共助ができるようにすることが今後の課題である。



(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書2 (避難訓練)

学校名	南越中学校
報告者	西田 耕基

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

「第2回南越中校区小中学校安全防災研究協議会(避難訓練)」

期 日:9月19日(金)13:10~14:30

場 所:南越中学校校舎内

参加者:岡本小1名、花筐小1名、南中山小1名、服間小1名(各校の安全担当者)

学校防災アドバイザー4名 打谷 由起子 内田 嘉寛 河嶋 径子

吉田 陽子

計8名

内 容:避難訓練を見学後、学校防災アドバイザーより生徒や教職員に向けてアドバイスを受ける。その後、改善点などについて協議する。

#### 2. 訓練の目的、内容 (※訓練実施計画の添付でも結構です)

※別添

### II 訓練の成果と課題

#### 1. 成果

学校防災アドバイザーや他学校の安全担当教諭に参観していただいたことで、訓練全体の課題が明確になった。課題を共有できたことで、参観された学校の避難訓練に生かすことができることや拠点校である本校と校区内のモデル校が避難の仕方などに一貫性がもてたことがよかった。また、生徒たちは、学校防災アドバイザーから防災や避難についてのアドバイスをいただいたことで、自らの命を守るだけでなく、他者の命を守る行動の重要性も学ぶことができた。



#### 2. 課題

避難について、教員側の役割分担を明確にすることや避難時に持ち出すものを職員室にわかりやすく設置しておくことが直近の課題である。また、垂直避難時の避難教室をあらかじめ決定しておく、動線が交差しない、1階から避難するクラスを優先するなどの課題もあった。今後、災害が起こりうる状況はさまざまであるため、安全担当教諭を中心に今回の課題を改善し、教職員全体で共有した上で、さらに危機管理意識を向上させ、万が一の時に素早く適切な避難ができるように備えていきたい。



( 別添 )

## 水害に備えた垂直避難訓練

南越中学校

### 1)目的

- ・大雨や洪水時の浸水に備え、命を守るために、迅速に上階に避難する訓練を行う。
- ・訓練を通し、防災の意識を高める。

### 2)日時

令和7年 9月19日(金) ※昼休みに訓練開始

### 3)設定

地域を流れる鞍谷川と月尾川が集中豪雨により氾濫危険水域を越えた。浸水にそなえ、1、2階の生徒は、3階に避難をする。

### 4)訓練の流れ

時刻	概要	内容詳細	生徒の動き
19日 までに	事前指導	※今週中のどこかで、大雨を想定した訓練が本日中にあることを生徒に伝えておく。(浸水時を想定した上層階に避難する訓練) ・先日の熊本豪雨、20年前の福井豪雨を紹介し、いつでもどこでも起こる災害だということを伝える。 ・突然の災害時に、指示をよく聞き、落ち着いて避難できるかが今回の訓練のポイントだということを伝える。 ・生徒を驚かせること自体が目的ではなく、安全行動の習慣化が目的であることを伝える。 ・避難場所と避難経路、振り返りの視点を確認しておく。	
19日 朝の会	確認	※簡単な直前指導(本日のどこかであること、前回の事前指導の再確認、避難場所と避難経路の再確認)を行う。 ※朝の会時に、すぐ避難できるよう、荷物の準備をさせておく。 ・カバン(教科書)、サブバック(着替えや水筒)、iPad	
10:30	注意放送	※2時間目と3時間目の間の放送で「昨日からの大雨により、鞍谷川と月尾川の水位が上昇しています。避難しなければならない状況になれば、今後放送で連絡をします。その際は、放送内容にしたがって避難をください。」	<input type="checkbox"/> 放送を聞く
13:20	訓練開始 非常ベル 放送	○訓練用の非常ベルが鳴る。(消防への連絡なし) 「訓練・訓練、大雨のため近くを流れる鞍谷川が氾濫する危険があるとの情報が入りました。全員、今すぐ、慌てずに、教室に戻りなさい。荷物を持って、全員、校舎の3階に避難ください。」	<input type="checkbox"/> 放送を聞き、荷物を持って、各避難場所に移動する。



( 別添 )

13:40	御高評	<p>○体育館に全校集会の隊形で集合し、防災アドバイザーの方から御高評をいただき、注意事項等を話していただく。</p> <p>※訓練の評価（10分程度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・避難開始から避難完了までの動線、時間、安全面について</li><li>・生徒の避難の仕方や合流方法は適切だったかどうか。</li><li>・教員の配置や役割分担が妥当だったかどうか。</li></ul> <p>※生徒への講話（10分程度）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・これまでの事例や経験に基づいた話。</li><li>・水害等の避難で気を付けるべき点やアドバイス。</li></ul>	
14:00	振り返り	<p>○自教室に戻り、振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・振り返りシート（紙媒体）に記入する。</li></ul>	

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(講義形式)

学校名	南越前町立今庄小学校
報告者	藏谷 明子

### I 実施状況

#### 1. 実施期日・参加者(学年・人数)等

- ・9月19日(金)15:00~16:00
- ・防災士 片山 明則さん 倉谷 道治さん
- ・教頭 藏谷 明子

#### 2. 実施の目的、内容

- ・水害避難訓練の実施要項の検討

### II 成果と課題

#### 1. 成果

水害避難訓練の実施要項の見直しができた。

- ・水害が起こる想定をもっと詳しくする。(雨の状況、累計雨量など)
- ・避難するときは、人数確認にもなるため、必ず声をかける。
- ・メガホン、ホイッスルを用意する。

#### 2. 課題

- ・教職員の防災意識を高めるためにも、パソコン上に「キキクル」「水位グラフ」などを常に見られるようにしておく。
- ・旧今庄中学校に、水、食料、毛布などの準備はできているのか。
- ・引き渡し訓練の実施を来年度に実施する。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

(様式2)

## 学校防災アドバイザー派遣事業報告書(避難訓練)

学校名	南越前町立今庄小学校
報告者	藏谷 明子

### I 避難訓練の実施状況

#### 1. 実施期日・想定時間・参加者(学年・人数)等

- ・11月19日(水)9:55~11:11:10
- ・防災士 片山 明則さん、倉谷 道治さん、辻子さん、角谷さん、京藤さん
- ・今庄小学校児童60名、教職員12名、
- ・なないろこども園園児・職員22名
- ・郡内防災担当者・教頭8名
- ・教育委員会 ●●さん

#### 2. 訓練の目的、内容(※訓練実施計画の添付でも結構です)

※別紙参照

### II 訓練の成果と課題

#### 1. 成果

- ・1年6年、2年5年、3年4年とペアになって避難できたのがよかった。高学年が低学年の手をつないであげたり、「頑張って」と声をかけてあげたりできていた。
- ・長期滞在を考えて水筒などを一人ひとりがナップサックに入れて避難させたのがよかった。また両手が使えるように荷物を担いでいたのもよかった。
- ・教職員が子ども達に不安を与えないように「あと少し頑張ろう」などの声かけをしていたのがよかった。
- ・こども園の園児も一緒に参加して避難することができた。
- ・常に「キキクル」「水位グラフ」を見て状況把握をしているのがよかった。
- ・他校の教職員の今後の水害避難訓練の参考になった。

#### 2. 課題

- ・中学校玄関の前で点呼をしたが、点呼をせずに素早く4階まで行かせた方がよかった。
- ・子ども園児を一番先頭にして避難させる方がよい。
- ・カッパのフードに大きく名前を書く方がよい。
- ・教職員が「マンホールがあるよ」など児童に伝えたことを後ろに並んでいる児童がさらに後ろにいる児童へ伝えていく練習も必要である。
- ・中学校の音楽室のある棟より道路側の棟に避難した方が安全である。
- ・避難準備をして教室で待っているよりも、早めに中学校へ避難して中学校でできる学習内容を考えておくほうがよい。
- ・災害では想定外の発生が必ずあるので、そのときに教職員がどのような判断・決断・実行をするのか考える必要がある。

画像(打合せ、訓練、講評等)も出来るだけ貼り付けてください。

## (様式2)

- ・学校独自のマニュアルを作っていくことが重要である。(想定を詳しくし、タイムラインでの対応を細かく記入していく。休校にする・下校させる・下校させずに学校待機などの想定もしておく。)
- ・他の住民も避難してくるときのことを考えてどの教室にとどまるとよいのか、地域全体で話し合っておくべきである。
- ・4月に避難用の水・食料を用意しておいた方がよい。(学校・町のどちらが用意しておくのか)
- ・「NHK 防災」「NERV 防災」のアプリを入れておくとうい。



画像（打合せ、訓練、講評等）も出来るだけ貼り付けてください。

## 令和7年度 水害避難訓練実施要項

- 1 目的 水害により、人的被害が発生する可能性が高まった場合の避難の仕方を身につける。
- 2 基本的構え 本校「洪水時の避難確保計画」に基づき、計画を立案し実施する。
- 3 日時 令和7年11月19日（水） 2・3時間目（業間も含む）
- 4 想定 ※日野川の水位、キキクルで毎時チェックをしている。
  - ① 11/18日からの雨が降り続き、累計雨量が100mmに達した。
  - ② 11/19午前7時、日野川の水位が氾濫注意水位（1.8m）に達した。  
→緊急放送「先生方へ連絡をします。日野川の水位が氾濫注意水位（1.8m）に達しました。避難準備をしてください。」
  - ③ 同8時、気象庁から、顕著な大雨に関する気象情報が発令された。
  - ④ 同10時、急激な水位上昇（2m）とキキクルでの危険度が上昇したため、避難開始を判断
  - ⑤ 同時刻に町からも「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された。  
→緊急放送「「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されました。避難準備をして今庄ホールに集合してください。」
  - ⑥ 旧今庄中学校4階への避難を開始する。
- 5 避難場所 旧今庄中学校の4階（音楽室）
- 6 避難経路 【日野川氾濫水位（1.8m）】教室で避難の準備  
【避難準備・高齢者等避難開始】今庄ホール集合（避難隊形）→旧今庄中学校4階
- 7 日程

9:55	緊急放送【避難準備】 なないろ子ども園と給食センターと教育委員会に連絡	なないろ （教頭） 給食・教委 （事務）
10:00	避難準備（各教室）	
10:05	緊急放送【避難準備・高齢者等避難開始】	
10:15	今庄ホール集合完了 学年ごとに分かれて、避難隊形を作る→点呼	
10:20	旧今庄中学校4階への避難行動開始	
	なないろ体育館玄関前に集合（なないろ子ども園は小学校の後に避難） 【4歳児：8人、5歳児：10人、先生：4人】	ロープ用意
10:35	旧今庄中学校玄関到着→点呼	
10:40	避難完了→点呼→人員報告	
10:45	校長からの話	
10:50	防災士さんからの講評、講話	
11:10	学校へ戻る（各クラスへ入る）	

★11:30 反省会（学校安全事業メンバー）

	児童	各担任	その他教員
10:00 避難準備	【教室】 避難準備を整える ・水筒、ズック袋、ビニール袋（カップ用）、体操袋持参 ・赤白帽子をかぶる。 ・カップを着用する。	【教室】 各教室へ移動 児童の避難準備への指導 笛の用意	【職員室】 職員室へ移動 情報の収集 避難用具の準備 旧今庄中の玄関とグラウンドに入るフェンスの扉を開ける。 (担当: ●●●事務職員)
10:05 避難	【教室】→【今庄ホール】 →【避難場所】 避難隊形で並ぶ。	【教室】→【今庄ホール】 →【避難場所】 児童を避難場所へ誘導	【職員室】→【本部】 避難開始の連絡・伝達 未避難者の確認後、避難開始
10:40 避難完了	【避難場所】 各避難場所に集合・整列	【避難場所】 確認・人員報告	【本部】 人員確認・情報総括等 避難場所へ行き引率補助

## 8 分 担

役割	氏名	内容
伝令	教頭	全校児童への校内放送による伝令 【日野川の水位が氾濫注意水位（1.8m）に達した】→緊急放送 【避難準備】町より「避難準備・高齢者等避難開始」が発令、避難準備を開始
避難誘導	各担任	各教室からの児童の避難誘導
人員総括	教頭	全校児童および職員の人員確認
避難用具	事務	避難用具を用意、避難場所へ持って行き、旧今庄中の玄関とグラウンドに入るフェンスの扉を開ける。（早めの段階で）
見回り	養護 支援員	・携帯電話 ・ゴミ袋 ・毛布（数枚） ・健康観察表 ・引き渡しカード ・AED ・救急セット ・消毒用ウエットシート 教室外(保健室等)児童の有無を確認後、避難場所へ移動
救護	養護	児童及び教員の救護

朝の段階で避難を見越した詰め込み作業を行う。

## 9 避難方法

(1) 「避難準備（日野川の水位が氾濫注意水位（1.8m）」の緊急放送を聞き、教室で避難準備を開始する。

児童は長期滞在への備えを用意後、カップを着用し、待機（水筒・赤白帽・ズック袋・ビニール袋を体操袋に入れる。）

(2) 「避難指示」の緊急放送を聞き、荷物を持って今庄ホールに集合し、避難隊形を作る。（内ズックをズック袋に入れる。）そして

6年・1年→5年・2年→4年・3年の順に外ズックに

履き替えてから児童玄関前に並び直してから今庄中学校へ避難を開始する。避難の際は1・6年生、2・5年生、3・4年生が

ペア学年として、上級生が下級生の安全を気にかけて避難する。

児童の後ろにも教員が立つ。4・5・6年担任と教頭はトランシーバーを装着し、緊急時の連絡手

